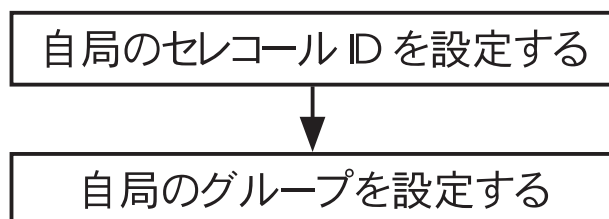


■セレコール機能を使用する前の準備

セレコール機能を使用する前に、下記の準備をしてください。



補足

セレコール機能の運用は 35 ページを参照してください。

注意

セレコール機能は下記の機能と同時に使用することはできません。
セレコール機能が優先されます。
・コールバック機能 ・VOX 機能

便利な機能

■自局のセレコール ID を設定する

- ① [音量つまみ]を左にまわしきり、電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量つまみ]を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE]を押して“SI-xx”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、セレコール ID を選択する。



oF (初期値)	セレコール機能を OFF にします。
01 ~ 20	自局のセレコール ID を選択します。

- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。

■自局のグループを設定する

- ① [音量つまみ]を左にまわしきり、電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量つまみ]を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE]を押して“SG-xx”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、グループを選択する。
- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。



G0 (初期値) ~ G9	自局のグループを選択します。
---------------	----------------

セットメニューの設定が終了します。

便利な機能

■サイレントモード（バイブレーター）の ON/OFF 設定

セレコール着信音をバイブレーターに変更することができます。

補足

サイレントモードを ON にすると、電源投入時に「ブルツ」とバイブレーターが動作します。

- ① [音量つまみ]を左にまわしきり、電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量つまみ]を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE]を押して“SL-xx”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、設定項目を選択する。

oF（初期値）	サイレントモードを OFF にします。
on	サイレントモードを ON にします。

- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。



便利な機能

■セレコール着信音を設定する

- ① [音量つまみ]を左にまわしきり、電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量つまみ]を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE]を押して“Sb-xx”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、着信音を選択する。

oF	着信音を OFF にします。
1（初期値）	ビープ：パターン 1 サイレントモード※：パターン 1
2	ビープ：パターン 2 サイレントモード※：パターン 2
3	ビープ：連続 サイレントモード※：連続

※：サイレントモードが ON のときは、バイブレーターのみ動作します。振動パターンは 3 種類で 15 秒間振動します。

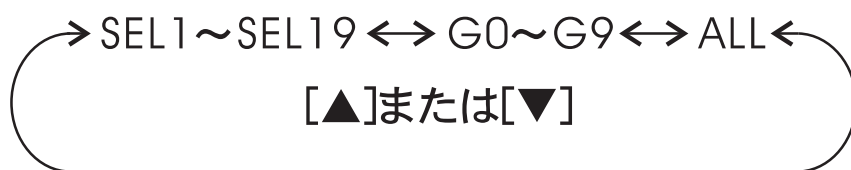
- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。



■セレコール呼び出しをする

注意 あらかじめ自局のセレコールIDを設定してください(33 ページ参照)。

- ① チャンネルスイッチをまわして、相手局と同じチャンネルにあわせる。
- ② [MODE]を押しながら[▼]を押す。
セレコール選択画面になります。
- ③ [▲]または[▼]で呼び出し方法を選択する。



個別で呼び出す 呼び出したい相手局のセレコールID (Sc 01 ~ Sc 20) を選択します。

グループで呼び出す 呼び出したいグループ (Sc G0 ~ Sc G9) を選択します。

全局を呼び出す Sc AL を選択します。

- ④ 上記のいずれかが表示されている時に、[通話 (PTT)]を押す。



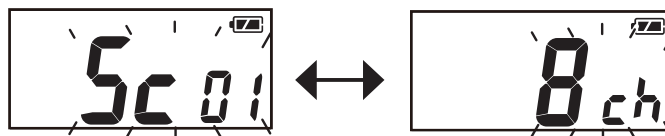
便利な機能

便利な機能

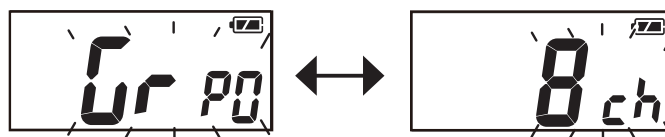
■セレコール呼び出しを受けた時

個別呼び出しとグループ呼び出しは、「着信音が鳴る」または「バイブレーターが動作する」とともに、ディスプレイにセレコール表示とチャンネルが点滅し着信を知らせます。

個別呼び出しを受けたとき



グループ呼び出しを受けたとき



全局呼び出しを受けたとき
(変化しない)



便利な機能

■メモ

便利な機能

便利な機能

コール機能

～相手をコール音で呼び出したい～

信号を受信した相手を、コール音（ピピピッ・・・）で呼び出すことができます。

補足

コール機能を使用する場合は、あらかじめ相手局と同じDCSコードに設定してください。



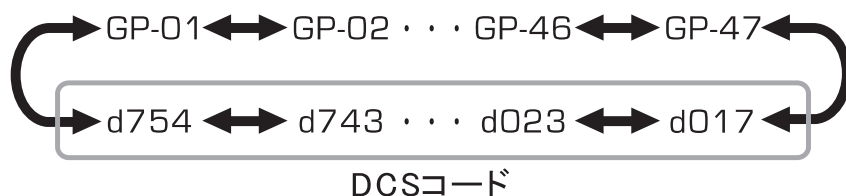
便利な機能

■ DCS コードを設定する

① [MODE]を押して、グループモードまたはDCSモードにする。

① [MODE]を押しながら[▲]を押します。
DCSコード設定状態になり“GP-01”が点滅します。

② [▲]または[▼]を押して、仲間同士で決めたDCSコードを設定する。



“dc”を表示させる

③ [通話 (PTT)]を押す。

DCSコードが設定され“dc”が表示されます。



④ 仲間同士で決めたチャンネル番号にあわせる。

■ 相手を呼び出す

[EMG]を短く押す。

信号を受信した相手をコール音（ピピピッ・・・）で、呼び出すことができます。

注意

相手の信号を受信しているとき（ディスプレイに“受信”が表示されているとき）は、[EMG]を押しても“プープープープ”と警告音が鳴るだけで、コール音で呼び出すことはできません。

コールサイン機能 ～相手をコールサインで呼び出したい～

本機にコールサインを設定することができます。
最大 5 局まで設定することができ、初期値は 1 に設定されています。
仲間同士で違う番号のコールサインを設定しておくと、自局に設定した電子音の回数が相手局に送出され、誰から呼ばれたのかコールサインとして判断することができ、呼び出すことができます。

■コールサインを設定する

- ① [音量ツマミ]を左にまわしきり、電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量ツマミ]を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE]を押して“cS-x”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、コールサインを選択する。



数字	電子音
1	ピ□□ツ
2	ピ□□ツ ピ□□ツ
3	ピ□□ツ ピ□□ツ ピ□□ツ
4	ピ□□ツ ピ□□ツ ピ□□ツ ピ□□ツ
5	ピ□□ツ ピ□□ツ ピ□□ツ ピ□□ツ ピ□□ツ

- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。

■相手を呼び出す

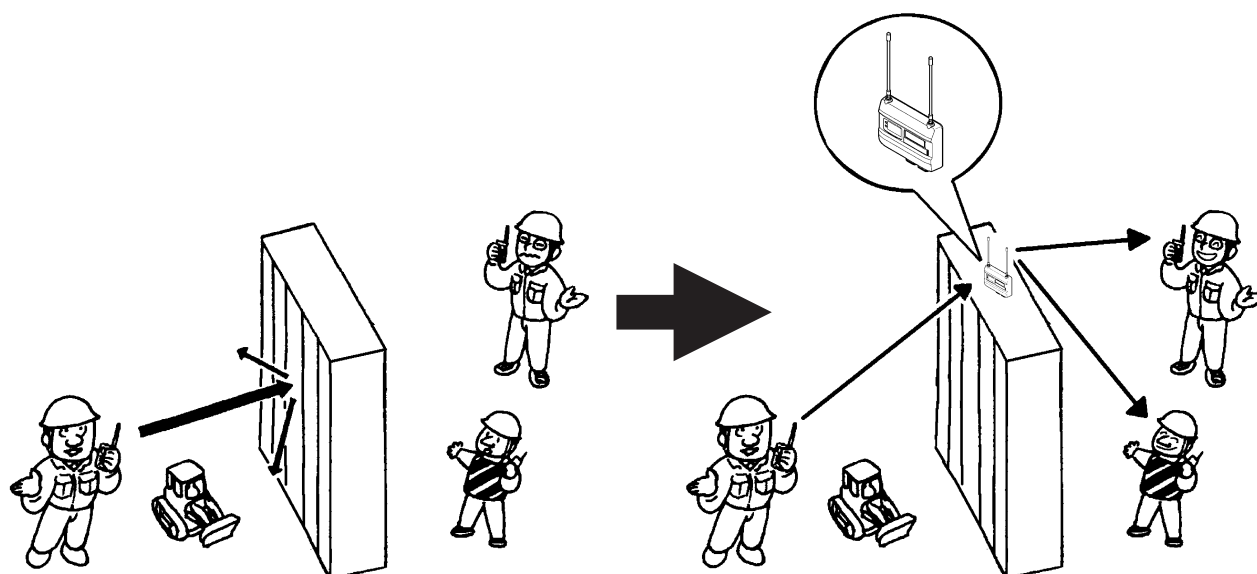
送信中に [MODE] を押す。
押している間だけ相手にコールサインを送ることができます。

便利な機能

中継機能 ～通話距離をのばすには～

途中にビルなどの障害物がある場合や、相手との距離が離れている場合など、電波が届かずに通話できないときは、当社対応の中継器を中間点に設置することにより、交信範囲が広がります。なお中継器の詳細については、お買い上げいただきました販売店または八重洲無線株式会社国内営業部（裏表紙参照）にお問い合わせください。

便利な機能



注意

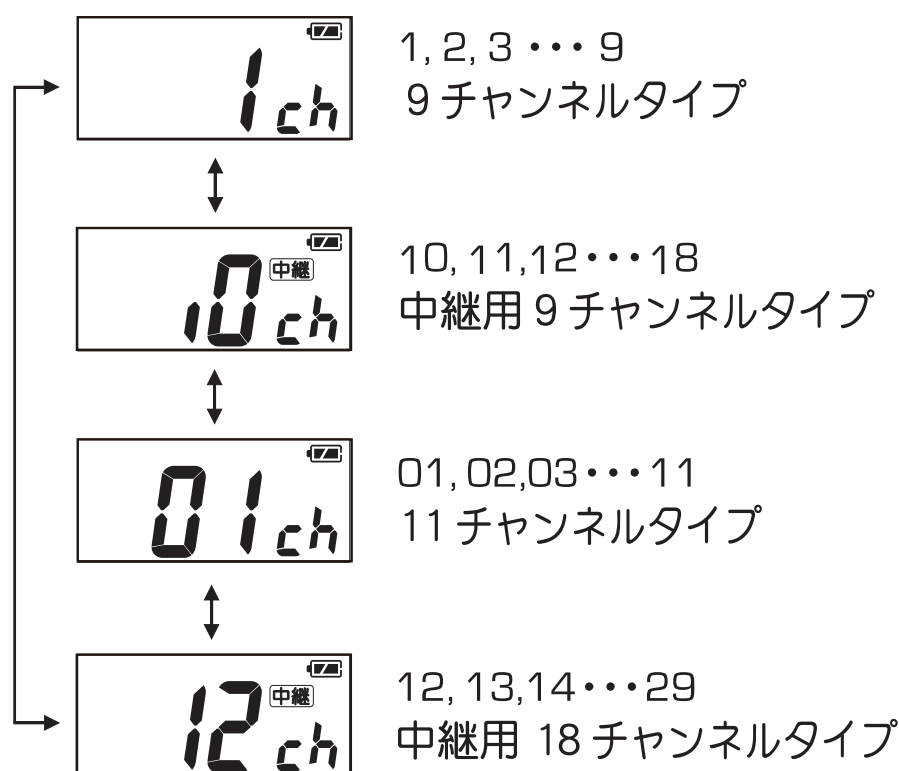
中継器を介した場合は、下記の機能を使用することができません。

- ・エマージェンシー機能の緊急用メモリーチャンネル機能
- ・コールバック機能
- ・セレコール機能
- ・オートチャンネルセレクト機能
- ・クローン機能

■中継機能を設定する

下記の操作を行うと、中継機能用のチャンネル（合計 27 チャンネル）が追加されます。

- ① [音量つまみ]を左にまわしきり、電源を切る。
- ② [▲]を押しながら[音量つまみ]を右にまわし、電源を入れる。
中継機能用のチャンネルが追加されます。
- ③ [▲]または[▼]を押すたびに、チャンネル番号が変わる。



便利な機能

■設定を解除する

- ① [音量つまみ]を左にまわしきり電源を切る。
- ② [▲]を押しながら音量つまみを右にまわし、電源を入れる。

■通話のしかた

- ① [▲]または[▼]を押して、中継用チャンネルの中で中継器と同じチャンネル番号にあわせます。
- ② “基本的な通話のしかた”（14 ページ）と同様に通話します。

補足

- グループモードを使用することができます（中継器と同じグループコードにあわせてください）。
- 当社指定の中継器のみ使用可能です。

その他の機能設定

スキャン機能 ～受信信号を探す～

自動でチャンネルを切り替えながら信号を探す機能です。信号を受信するとスキャンが一時的に停止し、信号がなくなると、約 10 秒後に再びスキャンを開始します。

■スキャン機能を設定する

- ① [音量ツマミ]を左にまわしきり電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量ツマミ]を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE]を押して“Sc-xx”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、設定項目を選択する。



oF (初期値)	スキャン機能を OFF にします。
on	スキャン機能を ON にします。

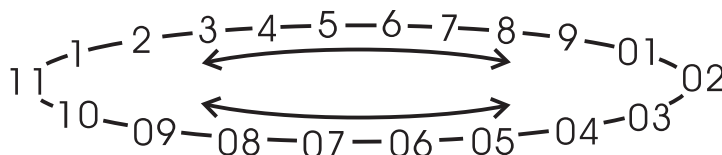
- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。

■スキャンを開始する

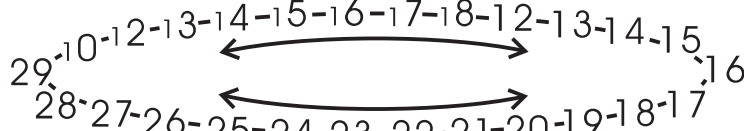
[▲]または[▼]を約 1 秒以上押す。
チャンネルをスキャンすることができます。

補足

スキャンを開始した
チャンネルからスキャン
します。



中継機能用チャンネルが追加された場合、中継機能用チャンネルからスキャンを開始すると中継機能用チャンネルのみスキャンします。



■スキャン方向を変更する

スキャン中に[▲]または[▼]を押す。
スキャン方向を変えることができます。

■スキャンを止める

[MODE]または[通話 (PTT)]を押す。

オートチャンネルセレクト機能 ～空チャンネルを探す～

[通話 (PTT)] を押すたびに、誰も使用していないチャンネルを自動で探し出し、相手局と交信することができます。

補足

相手のトランシーバーも、オートチャンネルセレクト機能を ON にしてください。

注意

オートチャンネルセレクト機能は下記の機能と同時に使用することはできません。オートチャンネルセレクト機能が優先されます。

- ・スキャン機能
- ・コールバック機能
- ・エマージェンシー機能

■オートチャンネルセレクト機能を設定する

- ① [音量つまみ] を左にまわしきり電源を切る。
- ② [MODE] を押しながら [音量つまみ] を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE] を押して “Ac-xx” を選択する。
- ④ [▲] または [▼] を押して、設定項目を選択する。



oF (初期値)	オートチャンネルセレクト機能を OFF にします。
on	オートチャンネルセレクト機能を ON にします。

- ⑤ [通話 (PTT)] を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了し、チャンネル表示が “AU” に変わります。

■オートチャンネルセレクト機能を開始する

[通話 (PTT)] を押して、一呼吸おいてから通話する。

押した瞬間に、誰も使用していないチャンネルを自動的に探します。

その他の機能設定

コンパンダー機能 ～バックノイズを軽減する～

相手が話しているときに聞こえる「サー」というバックノイズを軽減し、相手の音声を聞き取りやすくします。

補足

相手のトランシーバーも、コンパンダー機能を ON にしてください。

■コンパンダー機能を設定する

- ① [音量つまみ]を左にまわしきり電源を切る。
 - ② [MODE]を押しながら[音量つまみ]を右にまわし、電源を入れる。
 - ③ [MODE]を押して“cP-xx”を選択する。
 - ④ [▲]または[▼]を押して、設定項目を選択する。
- | | |
|----------|---------------------|
| oF (初期値) | コンパンダー機能を OFF にします。 |
| on | コンパンダー機能を ON にします。 |
- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。



音質切り替え機能 ～高域をカットした受信音にする～

通常の受信音より高域をカットして音声のみを強調した音質に切り替えることができます。相手がバックノイズの多い場所などで運用しているときに発揮します。

■音質切り替え機能を設定する

- ① [音量ツマミ]を左にまわしきり電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量ツマミ]を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE]を押して“hE-xx”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、設定項目を選択する。

1 (初期値)	高域が効いたメリハリのある音質になります。
2	高域をカットした音質になります。

- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。



その他の機能設定

その他の機能設定

スケルチレベル設定 ～耳障りなノイズを消す～

信号が入感していないときに出る、耳障りなノイズ（「ザーツ」音）を消すことができます。

補足

- スケルチレベルを上げすぎるとノイズは消えやすくなりますが、弱い電波が入感しなくなることがありますので、必要に応じて調節してください。
- 数字が大きいほどレベルが高くなります。

■スケルチレベルを設定する

- ① [音量つまみ]を左にまわしきり電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量つまみ]を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE]を押して“Sq-xx”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、レベルを設定する。



1（初期値）	スケルチレベル - 小
2	スケルチレベル - 中
3	スケルチレベル - 大
4	スケルチレベル - 最大

- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。

PTT デイレイ機能 ～耳障りなノイズを消す（グループモード）～

相手の信号を受信してから、待ち受け状態になるときに「ザーツ」と出る耳障りなノイズ音をカットして受信します。

補足

○相手のトランシーバーも、PTT デイレイ機能を ON にしてください。

■ PTT デイレイ機能を設定する

- ① [音量つまみ]を左にまわしきり電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量つまみ]を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE]を押して“Pd-xx”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、設定項目を選択する。

on（初期値）	PTT デイレイ機能を ON にします。
oF	PTT デイレイ機能を OFF にします。



その他の機能設定

- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。

その他の機能設定

オートパワーセーブ機能 ～電源切り忘れ防止～

2時間何も操作しないと電源の切り忘れとみなし、自動的に電源をOFFにします。1分前に「ピピッ」と警告音が鳴り、電源が切れます。

■オートパワーセーブ機能を設定する

- ① [音量ツマミ]を左にまわしきり電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量ツマミ]を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE]を押して“AP-xx”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、設定項目を選択する。
ONに設定すると、ディスプレイに  が点灯します。



oF (初期値)	オートパワーセーブの設定をOFFにします。
on	オートパワーセーブの設定をONにします。

- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。

ビープ音の設定 ～ボタン操作確認音～

ボタンやスイッチを押したときに、確認音として電子音が鳴ります。

補足

初期値は ON に設定されています。

ビープ音が耳障りなときは OFF に設定してください。

■ビープ音を設定する

- ① [音量ツマミ]を左にまわしきり電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量ツマミ]を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE]を押して“bP-xx”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、設定項目を選択する。

on (初期値)	ビープ音の設定を ON にします。
oF	ビープ音の設定を OFF にします。



その他の機能設定

- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。

その他の機能設定

送信ビーブ音の設定 ～送信操作確認音～

[通話 (PTT)] を押して送信を始めた際に電子音が鳴り、送信状態になったことを音で確認することができます。

■送信ビーブ音を設定する

- ① [音量つまみ] を左にまわしきり電源を切る。
- ② [MODE] を押しながら [音量つまみ] を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE] を押して “tb-xx” を選択する。
- ④ [▲] または [▼] を押して、“ON” を選択する。



oF (初期値)	送信ビーブ音の設定を OFF にします。
on	送信ビーブ音の設定を ON にします。

- ⑤ [通話 (PTT)] を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。

その他の機能設定

PTT ホールド機能（内蔵マイクのみ）

初期値は〔通話 (PTT)〕を押している間送信し、放すと待ち受けの状態になりますが、“ON” に設定すると〔通話 (PTT)〕を一度押すと送信状態のままになり、もう一度押すと待ち受けの状態に戻るホールド機能付き PTT スイッチに変更することができます。

連続送信時間は最大3分間で、3分が経過すると、自動的に待ち受けの状態に戻り、約2秒間“プーップーッ”と警告音が鳴ります。

警告音が鳴り終わってから再び送信したい場合は、再度〔通話 (PTT)〕を押してください。



注意 外部マイクの〔通話 (PTT)〕では、この機能は動作しません。

■ PTT ホールド機能を設定する

- ① 〔音量ツマミ〕を左にまわしきり電源を切る。
- ② [MODE] を押しながら〔音量ツマミ〕を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE] を押して“Ph-xx”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、設定項目を選択する。



oF（初期値）	PTT ホールド機能を OFF にします。
on	PTT ホールド機能を ON にします。

- ⑤ 〔通話 (PTT)〕を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。

その他の機能設定

送信禁止機能

～ガイドシステム子機として使用時に便利～

ONに設定すると、[通話 (PTT)]を押しても「プープー・・・」と警告音が鳴り、ディスプレイに“Err”と表示されて送信できません。

■送信禁止機能を設定する

- ① [音量ツマミ]を左にまわしきり電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量ツマミ]を右にまわし、電源を入れる。

- ② [MODE]を押して“tP-xx”を選択する。
- ③ [▲]または[▼]を押して、設定項目を選択する。

oF (初期値)	送信禁止機能を OFF にします。
on	送信禁止機能を ON にします。

- ④ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。



照明ランプの設定

通常は 2 に設定されており、ボタンを押すと照明ランプが約2秒間点灯します。OFF にすると、照明ランプを常時消灯することができます。

■照明ランプを設定する

- ① [音量ツマミ]を左にまわしきり電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量ツマミ]を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE]を押して“LP-xx”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、設定項目を選択する。

2 (初期値)	照明ランプが約2秒間点灯します。
oF	照明ランプを常時消灯します。



その他の機能設定

- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。

その他の機能設定

外部マイクの感度設定（外部マイクのみ）

外部マイクの感度を調節することができます。

■外部マイクの感度を設定する

- ① [音量ツマミ]を左にまわしきり電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量ツマミ]を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE]を押して“EG-xx”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、設定項目を選択する。



1	外部マイクの感度 - 小
2（初期値）	外部マイクの感度 - 標準
3	外部マイクの感度 - 大

- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。

その他の機能設定

内部マイク自動感度切り替え機能

声の大小に応じて、自動的に適切なマイク感度に切り替わります。

■内部マイク自動感度切り替えを設定する

- ① [音量ツマミ]を左にまわしきり電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量ツマミ]を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE]を押して“AL-xx”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、設定項目を選択する。

oF (初期値)	自動感度切替機能を OFF にします。
on	自動感度切替機能を ON にします。

- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。または電源を切る。
セットメニューの設定が終了します。



その他の機能設定

その他の機能設定

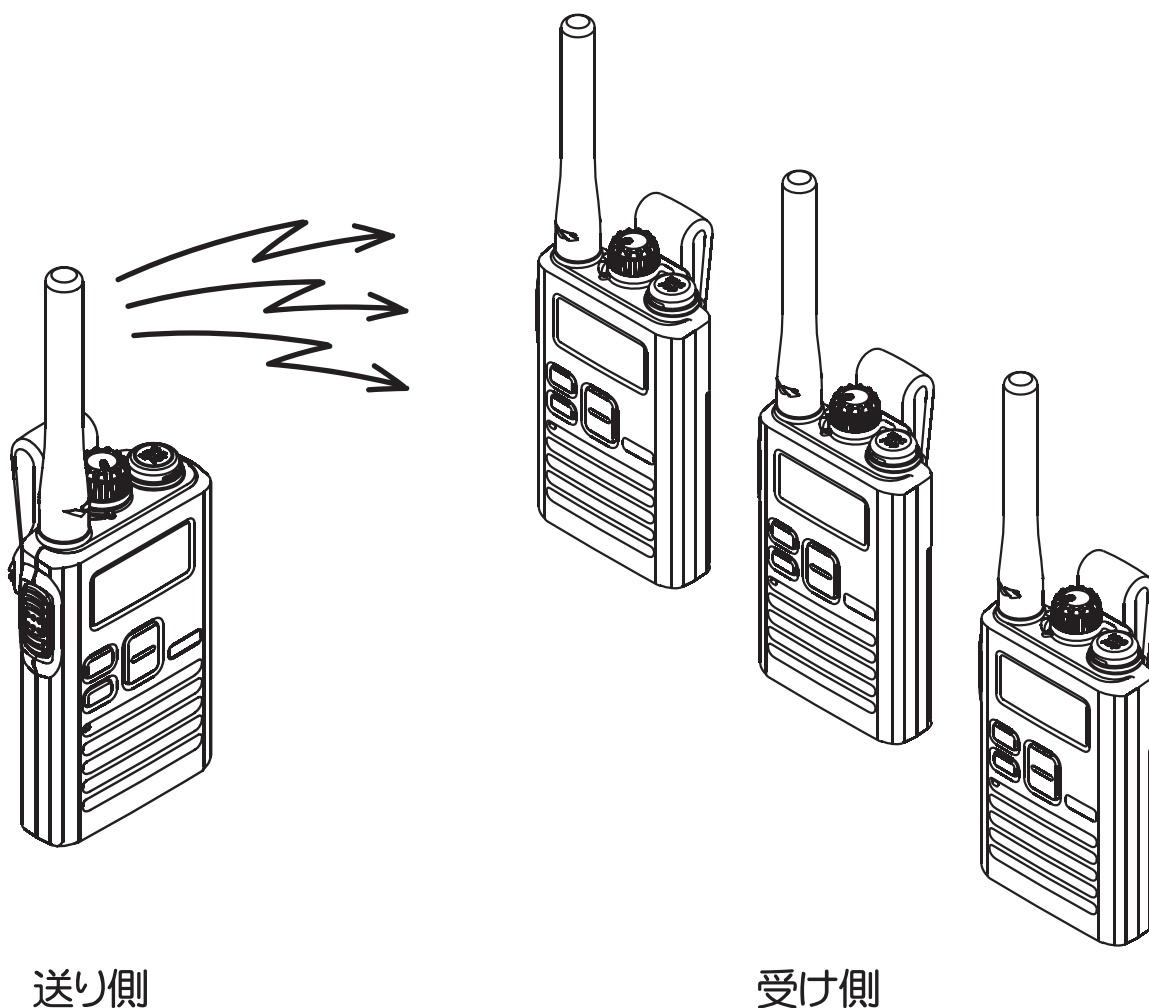
クローン機能 ～同じ設定に複製する～

送り側に設定してある内容をワイヤレスで複数台一斉にコピーすることができます。

コピーできる設定内容は下記のようになります。

- ◎ 現在設定しているチャンネル / グループコード / DCS コード
- ◎ 現在設定している通話モード（ノーマル / グループ / 秘話）
- ◎ セットメニューの設定内容

その他の機能設定



- 雑音の多い場所でクローン機能を行うと正常にコピーできない場合があります。
- 送り側と受け側を 1 m以内に近づけた状態で、クローンを行ってください。

■クローン機能を設定する

1 受け側を設定する

- ① [音量ツマミ]を左にまわしきり電源を切る。
- ② [MODE]を押しながら[音量ツマミ]を右にまわし、電源を入れる。
- ③ [MODE]を押して“cL-xx”を選択する。
- ④ [▲]または[▼]を押して、設定項目を選択する。
クローン機能を行う場合は ON に設定します。



oF (初期値)	クローン機能を OFF にします。
on	クローン機能を ON にします。

- ⑤ [通話 (PTT)]を押す。
ディスプレイに“CCcL”が表示される。

2 送り側を設定する

- ⑥ 受け側と同様、手順①～⑤の操作を行う。
- ⑦ [通話 (PTT)]を押す。
データが送出されます。



- 受け側は正常にコピーされると「ピピッ」と音がして、コピーされたチャンネルをディスプレイに表示します。
- “CCcL”のまま変化しない場合は、再度[通話 (PTT)]を押すと送り側からデータが送出されます。

- ⑧ 電源を切る。
セットメニューの設定を終了します。



- 電源を OFF にすることで、クローン機能は OFF になりますので、セットメニューで OFF にする必要はありません。

故障かな？ と思うまえに...

間違った操作をしていませんか？

修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

◎ 電源が入らない！

- ・ 電池は正しく取り付けてありますか？
電池の極性（＋）（－）をご確認ください。
- ・ 電池は消耗していませんか？
- ・ ニッケル水素電池（FNB-135）は十分に充電してありますか？

◎ 送信できない！

- ・ 通話（PTT）スイッチを正しく押していますか？
- ・ 送信禁止機能が ON になっていませんか？
- ・ PTT ホールド機能が ON のときに、外部マイクを使用していませんか？
- ・ 相手が話し中ではありませんか？
信号を受信してディスプレイに“受信”が点灯しているときは、送信できません。
- ・ 外部マイク使用の場合、きちんと緩みなく接続されていますか？

◎ 通話できない！

- ・ 相手と同じ通話モード（ノーマルモード・グループモード・秘話モード）に設定していますか？
- ・ 相手と同じチャンネルに設定していますか？
- ・ 相手と同じグループコード（または DCS コード）に設定していますか？
- ・ 相手との距離が離れすぎていませんか？

◎ 勝手に電源が切れる！

- ・ オートパワーセーブ機能が設定されていませんか？
- ・ 電池が消耗していませんか？
- ・ ニッケル水素電池（FNB-135）は十分に充電してありますか？

◎ グループモードで運用中に他の人の通話が聞こえる！

- ・ モニター機能になっていませんか？
電源を切り、再度電源を入れると解除されます。
- ・ 他の人も同じグループコードや DCS コードを使用している場合があります。
グループコードまたは、DCS コードを変えてください。

定 格

送受信周波数：1ch～9ch: 422.2000MHz～422.3000MHz
(12.5kHz ステップ) 01ch～11ch: 422.0500MHz～422.1750MHz

制御チャンネル：422.1875MHz

中継装置使用時：

10ch～18ch:

送信 440.2625MHz～440.3625MHz

受信 421.8125MHz～421.9125MHz

12ch～29ch:

送信 440.0250MHz～440.2375MHz

受信 421.5750MHz～421.7875MHz

電 波 型 式：F3E/F2D

通 信 方 式：単信および半複信方式

送 信 出 力：10mW 以下（電波法施行規則第6条適合）

受 信 感 度：－8dBμV 以下（@ 12dB SINAD）

低 周 波 出 力：40mW 以上（@ 4Ω、40mW 時歪率 10% 以下）

電源電圧 1.2V 時

動作温度範囲：－10℃～＋50℃

定 格 電 圧：DC 1.2V

動作電圧範囲：DC 1.0V～1.7V

本 体 寸 法：54.0×86.0×17.0mm

（幅×高さ×奥行き：アンテナおよび突起部を含まず）

本 体 重 量：約 120g（FNB-135 を含む）

RoHS 指令準拠

この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります。

オプション

- ◎ 充電式ニッケル水素電池 FNB-135 ※¹
- ◎ 急速充電器セット VAC-60 ※¹ (CD-60 + PA-56A)
- ◎ 防浸型スピーカマイク口ホン MH-73A4B ※²
- ◎ スピーカマイク口ホン MH-57A4B ※²
- ◎ タイピン型イヤホンマイク MH-62A4B ※²
- ◎ VOX ヘッドセット VC-24 ※²
- ◎ インターコム型ヘッドセット YH-100
- ◎ スポーツ / 工事ヘルメット用ヘッドセット YH-101A
- ◎ PTT ケーブル CT-87 ※²
- 付 ◎ イヤホンアダプター CT-101 ※²
- 録 ◎ タイピンマイク EK-313-107 ※²
- ◎ 小型タイピンマイク MH-381A4B ※²

※ 1 : 付属品と同等です。

※ 2 : ねじ込み式の防水コネクタを使用しているため接続をするときは、十分に締めこんでご使用ください。
締め込みが不十分な場合、接触不良を起こし通話できないことがあります。

キー操作早見表

スイッチ / キー	動作
電源スイッチ（音量ツマミ）	電源の ON/OFF（音量調節）
MODE	通話モードの切り替え
EMG	エマージェンシー機能
▲	チャンネルのアップ
▼	チャンネルのダウン
MODE+ 電源スイッチ	セットメニューの操作
▲ + 電源スイッチ	中継機能チャンネル追加
▼ + 電源スイッチ	モニター機能
▲ + ▼ + MODE+ 電源スイッチ	オールリセット
▲ + MODE	グループモード / DCS モードの設定

付
録

索引

記号

- ▲ボタン 13, 61
- ▼ボタン 13, 61

番号

- 3分間通話 13
- 3分間連続 15

D

- DCS コード 20, 61

E

- EMG ボタン 12, 61

F

- FNB-135 9, 11

I

- IP67 9

M

索引

- MIC/SP 端子 12
- MODE ボタン 12, 61

P

- PTT 12
- PTT デレイ機能 47
- PTT ホールド機能 51

V

- VAC-60 9
- VOX 機能 26

あ

- 相手をコール音で呼び出したい... 38
- 相手をコールサインで呼び出したい 39
- アップボタン 13
- アフターサービス 8
- アラームで緊急を知らせる 28
- アルカリ乾電池 11
- 安全上のご注意 4
- アンテナ 12

う

- 運用時のご注意 7

え

- エマージェンシー (EMG) ボタン ... 12

- エマージェンシー機能 28, 61

お

- オートチャンネルセレクト機能 43
- オートパワーセーブ 13
- オートパワーセーブ機能 48
- オーバーホール 9
- オールリセット 8, 61
- 同じ設定に複製する 56
- お使いになる前に 8
- オプション 60
- 音質切り替え機能 45
- 音声で自動送信する 26
- 音量ツマミ 13

か

- ガイドシステム子機として使用 52
- 外部マイクの感度設定 54
- 各部の名称と機能 12
- 空チャンネルを探す 43

き

- キー操作早見表 61
- 基本的な操作 14
- 基本的な通話のしかた 14
- 急速充電器 9
- 緊急連絡用メモリーチャンネル ... 29

く

- グループコード 13
- グループモード 17, 18, 61
- クローン機能 56

こ

- 高域をカットした受信音にする 45
- コール機能 38
- コールサイン機能 39
- コールバック 13
- コールバック機能 30
- 故障かな? と思うまえに... 58
- コンパクター機能 44

さ

- サイレントモード 34

し

受信.....	13
受信信号を探す.....	42
使用時間の目安.....	11
照明ランプの設定.....	53

す

スキャン機能.....	42
スケルチレベル設定.....	46
スピーカー.....	13

せ

正常に動かない.....	8
セットメニュー.....	13, 24, 61
セットメニュー一覧.....	25
セレコール機能.....	32

そ

送信.....	13
送信禁止機能.....	52
送信操作確認音.....	50
送信ビープ音の設定.....	50
その他の機能設定.....	42

た

耐塵防浸構造.....	9
ダウンボタン.....	13

ち

チャンネル番号.....	13
中継機能.....	40
中継チャンネル.....	13, 61

つ

通話 (PTT) スイッチ.....	12
通話可能か常時チェックしたい... ..	30
通話距離をのばすには.....	40
通話モード.....	17, 61

て

定格.....	59
電源切り忘れ防止.....	48
電源スイッチ.....	13, 61
電池残量.....	13
電池の入れかた.....	10

電池を入れるフタ.....	13
---------------	----

と

特定の局を呼び出したい.....	32
------------------	----

な

内部マイク自動感度切り替え機能	55
-----------------	----

に

ニッケル水素電池.....	9, 11
ニッケル水素電池のリサイクル.....	7

の

ノーマルモード.....	17
--------------	----

は

バイブレーター.....	34
バックノイズを軽減する.....	44
ハンドストラップ.....	10
ハンドストラップ取り付け穴.....	12

ひ

ビープ音の設定.....	49
秘話モード.....	13, 17, 22

ふ

付属品.....	9
付 録.....	58

へ

ベルトクリップ.....	9, 10, 12
便利な機能.....	28

ほ

ボタン操作確認音.....	49
---------------	----

ま

マイク.....	12
----------	----

み

耳障りなノイズを消す.....	46, 47
-----------------	--------

も

モード.....	17, 61
目 次.....	2
モニター.....	16, 61

ろ

ロック.....	13, 16
----------	--------



正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入いただいた販売店または、下記までご相談ください。

取扱説明書の記載内容を予告無く変更する場合があります。詳しくは下記の URL をご覧ください。

販売：八重洲無線株式会社 国内営業部

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8

天王洲パークサイドビル

電話：03-6711-4055

URL：<http://www.yaesu.com/jp/>

製造：バーテックススタンダード LMR 合同会社



中国印刷